

耳鼻咽喉科

堀井 新

2013.4.1に大阪医療センター耳鼻咽喉科の担当医局が大阪医科大学から大阪大学に変わりました。構成員は科長が堀井新(平成元年徳島大学卒)、専修医が稲守真璃(平成22年大阪医大卒)、大矢良平(平成23年岡山大学卒)、山村裕真(平成24年大阪大学卒)の4名です。私の専門分野はめまいや難聴などの神経耳科学で、大阪大学耳鼻咽喉科に1997年から2009年まで助手・講師として在局中は主研究者として以下のようなグラントを獲得してまいりました。「重力変化の耳石代謝および耳石器発達に与える影響について」、「過重力負荷と中枢神経系における神経伝達物質の変化」、「前庭刺激の中枢ケモカイン神経系に及ぼす影響について」、「中枢前庭系 GABA 作働性神経の前庭代償における役割 —分子生物学的アプローチを用いて—」、「重力変化の中枢神経系に対する影響前庭代償の分子メカニズムとめまい治療への応用」、「前庭代償とカルシウム関連分子：めまい治療の創薬をめざして」。今回大阪医療センターへ就職し、再び科研費を申請できる環境となりましたことを大変有り難く感謝しております。2014年度には医局員全員で4件の科研費を申請いたしましたが、残念ながらいずれも採択されませんでした。これにめげず今後も毎年全員で科研費獲得を目指したいと考えています。科研費以外のグラントとしては、2013年度から3年間の予定で東京医療センター耳鼻咽喉科南修司郎先生が主研究員を務める国立病院機構共同臨床研究「慢性中耳炎における難培養微生物のメタゲノム解析による新規治療開発に関する研究」に分担研究者として参加させて頂いています。NHO ネットワーク協同研究に関しては2014年度は主研究員として1件応募申請中ですが、現時点で採択されたかどうかはまだ判明していません。国立病院機構のメリットである科研費およびNHO ネットワーク協同研究申請を2本の柱として今後もグラント獲得を目指したいと思っています。

【2013年度研究発表業績】

A-0

Kamakura T, Ishida Y, Nakamura Y, Yamada T, Kitahara T, Takimoto Y, Horii A, Uno A, Imai T, Okazaki S, Inohara H, Shimada S. Functional expression of TRPV1 and TRPA1 in rat vestibular ganglia. *Neurosci Lett* 2013; 552: 92-97

Fukushima M, Kitahara T, Horii A, Inohara H. Effects of endolymphatic sac decompression surgery on endolymphatic hydrops. *Acta Otolaryngol* 2013; 133 (12): 1292-1296 (2013年12月)

Nishiike S, Okazaki S, Watanabe H, Akiduki H, Imai T, Uno A, Kitahara T, Horii A, Takeda N, Inohara H. The effect of visual-vestibulosomatosensory conflict induced by virtual reality on postural stability in humans. *J Med Inv* 2013; 60 (3-4): 236-239 (2013年8月)

Kitahara T, Fukushima M, Uno A, Imai T, Ohta Y, Morihana T, Kamakura T, Horii A, Inohara H. Long-term results of endolymphatic sac drainage with local steroids for intractable Meniere's disease. *Auris Nasus Larynx* 2013; 40 (5): 425-430 (2013 年 10 月)

Uno A, Imai T, Watanabe Y, Tanaka H, Kitahara T, Horii A, Kamakura T, Takimoto Y, Osaki Y, Nishiike S, Inohara H. Changes in endolymphatic hydrops after sac surgery examined by Gd-enhanced MRI. *Acta Otolaryngol* 2013; 133 (9): 924-929 (2013 年 9 月)

Imai T, Masumura C, Takeda N, Kitahara T, Uno A, Horii A, Nishiike S, Ohta Y, Shingai-Higashi K, Morihana T, Okazaki S, Kamakura T, Takimoto Y, Inohara H. Pseudo-anterior canalolithiasis. *Acta Otolaryngol* 2013; 133 (6): 594-599 (2013 年 6 月)

Furukawa M, Kitahara T, Horii A, Uno A, Imai T, Ohta Y, Morihana T, Inohara H, Mishiro Y, Sakagami M. Psychological condition in patients with intractable Meniere's disease. *Acta Otolaryngol* 2013; 133 (6): 584-589 (2013 年 6 月)

Okazaki S, Nishiike S, Watanabe H, Imai T, Uno A, Kitahara T, Horii A, Kamakura T, Takimoto Y, Takeda N, Inohara H. Effects of repeated optic flow stimulation on gait termination in humans. *Acta Otolaryngol* 2013; 133 (3): 246-252 (2013 年 3 月)

Hio S, Kitahara T, Uno A, Imai T, Horii A, Inohara H. Psychological condition in patients with an acoustic tumor. *Acta Otolaryngol* 2013; 133: 42-46 (2013 年 1 月)

A-3

真貝佳代子, 今井貴夫, 滝本泰光, 北原紘, 堀井新, 宇野敦彦, 西池季隆, 猪原秀典 良性発作性頭位めまい症の診断のための問診の試作「*Equilibrium Research*」 73 (1): P.37-43、2014 年 2 月

福嶋宗久, 北原紘, 堀井新, 道場隆博, 大園芳之, 今井隆介 :外リンパ瘻からの続発性内リンパ水腫形成を疑った 2 症例「*Equilibrium Research*」 73 (1): P. 16-21、2014 年 2 月

宇野敦彦, 堀井新, 今井貴夫, 大崎康宏, 鎌倉武史, 北原 紘, 滝本泰光, 太田有美, 森鼻哲生, 西池季隆, 猪原秀典 : 内リンパ水腫診断における内耳造影 MRI の有用性—造影剤投与方法による比較と蝸電図・グリセロールテストとの比較 「*日本耳鼻咽喉科学会会報*」 116: p.960-968、2013 年 8 月

鎌倉武史、石田雄介、中村雪子、山田貴博、北原 糺、滝本泰光、堀井 新、宇野敦彦、今井貴夫、岡崎鈴代、猪原秀典、島田昌一：前庭神経節における TRPV1、TRPA1 受容体の発現について 「耳鼻咽喉科ニューロサイエンス」 27: p.58-61、 2013 年

A-5

福嶋宗久、宇野敦彦、今井貴夫、猪原秀典、北原 糺、堀井 新：内リンパ嚢手術後のめまい発作抑制と前庭機能改善および内リンパ水腫改善。厚生労働省前庭機能異常研究班平成24年度研究報告書：152-153, 2013

宇野敦彦、今井貴夫、鎌倉武史、堀井 新、大崎康宏、滝本泰光、西池季隆、猪原秀典、北原 糺：内リンパ嚢手術前後の内リンパ水腫画像所見について。厚生労働省前庭機能異常研究班平成 24 年度研究報告書：154, 2013

古川雅史、宇野敦彦、今井貴夫、福嶋宗久、猪原秀典、堀井 新、北原 糺：難治性メニエール病の治療効果と心理面評価。厚生労働省前庭機能異常研究班平成24年度研究報告書：158, 2013

北原 糺、宇野敦彦、今井貴夫、猪原秀典、福嶋宗久、堀井 新：両側メニエール病の難聴進行耳への対処。厚生労働省前庭機能異常研究班平成24年度研究報告書：163, 2013

北原 糺、宇野敦彦、今井貴夫、猪原秀典、福嶋宗久、堀井 新：一側メニエール病の両耳移行に関する検討。厚生労働省前庭機能異常研究班平成24年度研究報告書：164-165, 2013

B-1

Horii A. Imaging studies of intractable vestibular diseases: BPPV and Meniere's disease. Plenary Session: Peripheral vestibular disease. Current and future perspectives, 29th Politzer Society Meeting, Antalya, Turkey, 2013 年 11 月

Imai T, Kitahara T, Takeda N, Horii A., Uno A, Inohara H. Failure of liberatory maneuvers in anterior canal type of benign paroxysmal positional vertigo. Invited Session: Failure of liberatory maneuvers, 29th Politzer Society Meeting, Antalya, Turkey, 2013 年 11 月

Horii A., Kitahara T, Uno A, Imai T, Inohara H. Intractable BPPV: long-term follow-up and inner ear abnormality detected by 3D-MRI. Symposium: BPPV-Diagnostic Issues, 20th International Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies (IFOS) World Congress, Seoul, Korea, 2013 年 6 月

B-2

Kamakura T, Ishida Y, Nakamura Y, Yamada T, Kitahara T, Takimoto Y, Horii A, Uno A, Imai T, Okazaki S, Inohara H, Shimada S : Functional analysis of TRPA1 and TRPV1 channels in rat vestibular ganglia 36th Annual ARO Midwinter Meeting in Maryland, 2013年2月

B-4

古川雅史、北原 糺、伊東真人、宇野敦彦、今井貴夫、太田有美、森鼻哲生、笹井久徳、大藪芳之、猪原秀典、堀井 新：難治性メニエール病の手術または保存治療効果に与える心理面の影響。第114回日本耳鼻咽喉科学会総会、札幌、2013年5月

滝本泰光、石田雄介、島田昌一、北原 糺、今井貴夫、鎌倉武史、岡崎鈴代、宇野敦彦、堀井 新、猪原秀典：末梢前庭系におけるセロトニン受容体3の発現。第31回耳鼻咽喉科ニューロサイエンス研究会、大阪、2013年8月

北原 糺、今井貴夫、鎌倉武史、滝本泰光、大藪芳之、太田有美、森鼻哲生、猪原秀典、宇野敦彦、堀井 新：対側に無症候性内リンパ水腫を持つ一側メニエール病の両側移行に関して。第72回日本めまい平衡医学会、大阪、2013年11月

宇野敦彦、堀井 新、今井貴夫、北原 糺、鎌倉武史、滝本泰光、服部賢二、猪原秀典：内耳造影MRI検査による前庭水腫の評価について。第72回日本めまい平衡医学会、大阪、2013年11月

岩本依子、今井貴夫、北原 糺、堀井 新、宇野敦彦、太田有美、森鼻哲生、真貝佳代子、鎌倉武史、滝本泰光、西池季隆、猪原秀典：240Hz-VOGシステムによるbow-tie眼振の記録・解析。第72回日本めまい平衡医学会、大阪、2013年11月

増村千佐子、今井貴夫、北原 糺、岡崎鈴代、堀井 新、宇野敦彦、太田有美、真貝佳代子、森鼻哲生、猪原秀典：方向交代性下向性眼振の減衰型と持続型の鑑別に要する必要十分な眼振観察時間の検討。第72回日本めまい平衡医学会、大阪、2013年11月

真貝佳代子、今井貴夫、北原 糺、西池季隆、堀井 新、宇野敦彦、滝本泰光、猪原秀典：BPPVの問診による診断—外側半規管型と後半規管型の鑑別—。第72回日本めまい平衡医学会、大阪、2013年11月

伊賀朋子、北原 糺、今井貴夫、猪原秀典、堀井 新：神経耳科疾患におけるENG及び重心動揺について（最優秀ポスター賞）。第72回日本めまい平衡医学会、大阪、2013

年 11 月

B-6

今井貴夫、北原 紘、太田有美、森鼻哲生、増村千佐子、岡崎鈴代、真貝佳代子、猪原秀典、宇野敦彦、堀井 新：減衰型、持続型の方向交代性下向性眼振の鑑別。日本耳鼻咽喉科学会大阪地方連合会第 325 回例会、2013 年 5 月

福嶋宗久、大矢良平、稲守真璃、堀井 新：めまいを契機に見出された高齢者の中耳真珠腫例。日本耳鼻咽喉科学会大阪地方連合会第 327 回例会、2013 年 12 月

大矢良平、稲守真璃、福嶋宗久、堀井 新：HIV 感染者における突発性難聴、および顔面神経麻痺。日本耳鼻咽喉科学会大阪地方連合会第 328 回例会、2014 年 3 月

B-7

北原 紘、堀井 新、宇野敦彦、今井貴夫、福嶋宗久、大崎康宏、猪原秀典：メニエール病が内リンパ嚢開放術に至る経過と結果。厚生労働省前庭機能異常研究班会議、2014 年 1 月

北原 紘、福嶋宗久、道場隆博、大藪芳之、今井隆介、富山要一郎、西池季隆：大阪労災病院におけるストレス・ホルモン・マネジメント研究。厚生労働省前庭機能異常研究班会議、2014 年 1 月

B-9

堀井 新：NHK 関西ラジオワイド「季節の健康」（2014.2.5 放送）。テーマ：慢性中耳炎